

## 県民の皆様へ

本県では、「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさを実感できる山形」の実現を目指し、令和2年度から概ね10年間の県づくりの基本的な考え方とその実現に向けた政策・施策の展開の方向性を示す第4次山形県総合発展計画を、令和2年3月に策定しました。その中では、産業経済に関する政策の柱として、「次代を担い地域を支える人材の育成・確保」と「高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化」を掲げ、本県産業の振興を進めていくこととしております。



本県の産業は、世界最先端分野の研究開発の進展や、伝統に培われた老舗企業や多様なものづくりなどの取組みにより発展を続けてまいりました。その一方で、少子高齢化に伴う人口減少の加速や働き方改革への対応、「第4次産業革命」とも呼ばれる急速な技術革新の進展、地域経済のグローバル化など、社会経済状況の大きな変化に的確に対応していくことが課題となっております。

このような中、これまで本県の産業振興施策の基礎としてきた「山形県産業振興ビジョン」（平成27年3月策定）の計画期間が終了を迎えるため、今後5年間の産業振興の戦略と方向性を明らかにし、新たな道しるべとなる次期の計画を策定することといたしました。

ここに策定する新たな山形県産業振興ビジョンでは、“CHALLENGE CHANCE to CHANCE”を旗印に、『新時代を担う本県の多様な「チカラ」を結集してイノベーションを加速し、国内外の変化や新たなビジネスチャンスに対応した高付加価値産業構造の確立をめざす』という基本目標を掲げ、「新時代を担う人材の確保と新規創業の促進」、「新時代を支える企業収益と県民所得の向上」及び「新時代に対応した本県産業の競争力強化」の三つを本県産業振興の方向として示しております。その実現に向けては、これまでに取り組んできた施策を深化させるとともに、若者や女性等の志向に合った就業の受け皿づくりや本県ならではのライフスタイルの発信などによる多様な人材の県内定着・回帰を促進する施策や、本県産業の強みや先端技術等を活かした新たなイノベーションの創出を促進する施策などを盛り込んでおります。

これらの施策を、産学官金など関係機関との連携をさらに強化しながら、積極果敢に挑戦し、変化をチャンスに変えていく力強い本県産業の振興に力を注いでまいりますので、産業界の皆様、県民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和2年3月

山形県知事 吉村美栄子